

ii. パブリックコメント

1. パブリックコメントの概要

- (1) 募集期間 平成28年8月26日(金)～平成28年9月26日(月)
 (2) 応募状況 3件/1名、1団体
 (3) 内容と対応

【基本構想】基本理念について

◆意見の概要

「安心・あんぜんなまち」について、過去の災害等を中心に述べられているが、プラス面を表に出すべき。新しい概念を構築していくべき。

「活力あるまち」「コンパクトなまち」については、一緒にする方が思考回路がスムーズになり、つながりが明確になりやすい。

◆市の考え

基本理念は、総合計画を推進していくための根本となる考え方で、4つの項目として整理しています。

それぞれの基本理念が独立した考え方ではなく、それぞれの視点を踏まえて、総合計画を推進していきます。

◆対応

変更しない

【基本計画】観光・交流「現状と課題」「前期の方向性」について

◆意見の概要

「現状と課題」に追加を希望

- 留萌では銭湯が姿を消し、市民の保健衛生面の整備の観点から、既存の温泉宿泊施設の利用についても他地域の温泉宿泊施設に流出が目立っており、地元でくつろげる観光のかつ衛生的なリゾート型施設への転換・整備のための施策の展望が望まれます。

「前期の方向性」に追加を希望

- 民間との協働により、体験型観光メニューの確立並びに既存の温泉宿泊施設のリゾート型施設への転換・整備に努めていきます。

◆市の考え

銭湯の閉鎖と他地域への温泉宿泊施設への流出の関連性を確認することができません。

観光面でのリゾート型温泉宿泊施設への転換・整備については、行政としては現在のところ検討していません。

◆対応

変更しない

【基本計画】教育・子育て「数値目標」について

◆意見の概要

4-01-01 確かな学力を身に付けるための教育の充実

数値目標の設定がざっくり過ぎではないかと思う。また、最低でも50%を超えなければ目標とは言えない。

H33の数値目標が突然100%になっており、余りにも数値の算定に疑問が残る。

◆市の考え

現状値を最低とし、毎年、前年度の実績を上回り、前期基本計画の終了する平成33年度には、全教科で全国平均を上回ることを目標としているものです。

◆対応

変更しない

2. 町内会長会議の概要

- (1) 開催日等 平成 28 年 9 月 3 日(土) 13 時 30 分から 留萌産業会館
- (2) 出席者 51 町内会 70 名
- (3) 実施方法
 - ・ 総合計画素案概要説明
 - ・ 8 班編成により、意見交換会
- (4) 主な意見等

〔総合計画全体〕

- ・ 優先順位、計画的な実施が必要
- ・ 事業(予算)の優先度についても市民意見を取り入れる機会を作してほしい
- ・ 地域課題は山積している。メリハリを付け取り組む必要がある。人口減少対策が最重要課題
- ・ 過去の総合計画の検証結果を知りたい
- ・ 施策評価を毎年度町内会長会議等で情報提供すべき
- ・ 総合計画は大局観に欠ける
- ・ 50 年、100 年先の夢を描いてほしい
- ・ 数字ばかりではなく、誰もが分かりやすいよう図で示してほしい
- ・ 具体例が無いため、分かり難い
- ・ 市民が誇りを持って暮らせるまちづくり、他の街の住民が地域に誇りを持っている状況を分析・研究して欲しい
- ・ 絵に描いた餅にならないよう進めてほしい
- ・ 事業実施による経済効果の算定が必要

〔産業・港・雇用〕

- ・ 一次産業の振興策を国や道の施策だけではなく、独自支援を積極的にやるべき
- ・ 若者の転出抑制のため、働く場所・雇用の確保に取り組んでほしい
- ・ 企業誘致の考えも、計画に載せた方が良い
- ・ 地元就職の希望がかなうよう企業育成、雇用の場の確保を重点的にやってほしい(観光は一過性)
- ・ 高規格幹線道路整備終了後の公共工事の先が見えてこない
- ・ 入港数が減っているが、今後の利活用計画を盛り込むのか
- ・ 留萌港に活気、賑わいある施策を進めてほしい
- ・ 火力発電所誘致、フェリー誘致、全てが立ち消えた。大きなことを言っても結果が伴っていない。梨の礫。

〔観光・交流〕

- ・ 留萌に人を呼び込むイベントを考えていかなければならない
- ・ 留萌港の夏季期間のレジャー活用を検討して人を呼び込む
- ・ 船場公園での歩くスキーや萌っこ春待里開催など冬期利活用計画はあるのか
- ・ 船場公園を地域交流の場として、大会や練習、合宿など目玉として活用できないか
- ・ 宿泊施設が欲しい
- ・ 観楓会で地方に出かける。逆に地方から招き入れる施設整備が必要。数年後にはこんな施設をつくるという夢を抱くことができる計画が必要

〔健康・福祉〕

- ・ 町内会と行政との対話する機会が必要
- ・ 町内会も高齢化等により壊滅の可能性が出てくる。合併も必要になってくるのではないか
- ・ 町内会役員も高齢化し、若い人を参加させていくために行政がどう導いていくのか
- ・ 市職員、官公庁関係者も町内会役員に就いて貰いたい
- ・ 若い人はマンション等に入居しており、町内会加入の意識が低い
- ・ 市立病院の頑張る姿を見せてほしい
- ・ 保険者(社保・国保)によって個人負担額に差がある(人間ドックなど)、病気予防のためにも施策を検討して欲しい
- ・ 訪問看護の再開を検討し、総合計画に計上して欲しい
- ・ 障がい者のためにも公共施設のバリアフリー化を進めてほしい

〔防災・防犯〕

- ・ 通学路、学校周辺の街路灯が少なく不安
- ・ 公共施設が災害時の避難所として機能するよう整備を進めるべき
- ・ 市営住宅が避難所に指定されているが一時的なもので、長期化に耐えられない
- ・ 海岸線の避難所が分からない
- ・ 裏山避難路の草刈りも限界がある
- ・ 冬期間の避難路を行政は何も考えていない
- ・ 町内会役員も高齢化しており、独居高齢者のサポートも難しい
- ・ S63 水害以降大きな災害もないため、自主防災訓練、市防災訓練への参加者も減っている
- ・ 降雪、吹雪による日中の避難路や生活道路の確保のためパトロールをしっかりとってほしい

〔環境・都市基盤〕

- ・ 副港を埋め立て、駐車場とすることで利用価値が上がる
- ・ 人口減に伴う空き家対策(解体補助など)を講じる、あるいは方向性を示すべき
- ・ 街の中心部を明確にし、総合計画で示す必要がある
- ・ 公園管理を町内会に依頼されても町内会も厳しい。廃止や統合の方針を出してもいい
- ・ 除雪に対する対応、体制、業者指導をしっかりとって欲しい
- ・ 除雪が早朝1度だけであり、出勤時にはもう積もっている状態になることもある

〔その他〕

- ・ 市役所内部で情報を共有し、どこの部署でも対応できる体制づくりを計画に盛り込んでほしい